

パブリックコメントの結果の概要

No	御意見の概要	御意見に対する考え方
1	<p>資料には記載が無かったが、LGWANについてはソフトバンク系事業者が運営を行っているものであり、またそうでなくても各種VPNについてはその運営を行う会社とその内部については情報取得を可能であったりするのであるため、行政機関等は、それらを経由しての情報のやり取りを行う場合は、必ずそれらのVPNに加えての暗号化通信の措置を行うようにされたい。(各種作業を行う者についてその品質の保証出来ない部分というのはどのような事業者にもあつたりするものであるが、しかしそれで国や国民の個人情報や他重要情報が漏洩しては良くない。問題ある者がLGWANやVPN内部(あるいはそれらの内部とならない場所であっても通信の途中地点等(例えば地方公共団体に関係するようなものである場合、LGWAN用ターミナル機器と端末の中間地点においての盗聴などが行われる可能性があつたりするであろう(もちろん、適切に通信のセキュリティについての保護を行えば、その様な盗聴についても防御が可能になる。))で通信の盗聴を試みても、(適切な)暗号化により通信が保護されている様な状態である事が重要である。)</p> <p>LGWANや他VPN内であっても安心して素のhttpプロトコルやtelnet、FTP、SMTP/POP3/IMAPなどを使うのではなく、必ずTLSでの保護を行っての通信を行うようにされたい(httpsやSSH、SFTP、SMTPS/POP3S/IMAPSなど。また利用者、権限、可能な操作等を限定したSSHトンネルの利用を行うのも可能かもしれない。とにかく、LGWANや他VPN内であっても、その内部において平文での電気通信がなされないようにすべきである。)</p> <p>意見は以上である。</p>	<p>「政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準」などを踏まえ、セキュリティの確保を実施していきます。</p>